

くすりのしおり

内服剤

2015年11月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：プラナルカスト錠 225mg 「CEO」

主成分：プラナルカスト水和物 (Pranlukast hydrate)

剤形：白色～淡黄色の錠剤、直径 9.5mm、厚み 3.4mm

シート記載：（表）プラナルカスト 225mg 「CEO」、CEO 132、プラナルカスト 225mg
（裏）PRANLUKAST 225mg 「CEO」、CEO 132、プラナルカスト 225mg



この薬の作用と効果について

ロイコトリエン受容体に選択的に結合し、作用を阻害することで、気道の収縮反応、血管透過性、粘膜の浮腫および過敏性などが亢進するのを抑制します。

通常、気管支喘息、アレルギー性鼻炎の治療に用いられます。気管支喘息においては、すでに起こっている発作を止める薬ではなく、発作を予防する薬です。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は :医療担当者記入>>
- ・通常、成人は1回1錠（主成分として225mg）を1日2回、朝食後と夕食後に服用します。年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、次に通常服用する時間まで5時間以上時間がある場合には、すぐに飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、吐き気、下痢、腹痛、胃部不快感、頭痛、眠気、めまい、発疹、かゆみ、じん麻疹、多形滲出性紅斑などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・血圧低下、意識障害、呼吸困難 [ショック、アナフィラキシー様症状]
- ・紫斑、鼻出血、歯肉出血などの出血傾向 [血小板減少]
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や粘膜などの黄染 [肝機能障害]
- ・発熱、から咳、呼吸困難 [白血球減少、間質性肺炎、好酸球性肺炎]
- ・筋肉痛、脱力感、赤褐色尿 [横紋筋融解症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。